

○目標を達成するための具体的な取組状況【加古川】

(○：H28取組に具体の成果例あり ●：H28取組で具体の成果例なし -：H28取組対象外)

項目	取組実施機関						H28実施内容	H28成果 青字：資料2-2で国が取組事例として報告 赤字：資料2-3で各機関が取組事例として報告	H29以降継続内容	最終目標	備考
	国	兵庫県	加古川市	高砂市	小野市	加東市					
1. 情報伝達、避難計画等に関する事項											
最大規模洪水を対象とした洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーションの策定、公表	○	-	○	-	-	-	・加古川(国管理区間)におけるL2浸水想定区域図の作成、公表(ホームページ、紙閲覧)	・L2浸水想定区域図を作成、公表中【国】 ・破堤点毎の浸水状況図を各自治体に配布【国】 ・CGハザードマップを公表中(L1規模)【県】	・ホームページ等による公表の継続 ・公共施設等への掲示	・地域住民の認知度向上	
地域住民及び学校等への水災害教育の実施	○	-	○	●	○	○	・小学生向け防災冊子の作成、配布 ・防災訓練の実施 ・出前講座の実施 ・ジュニア防災スクールの実施 ・ひょうご防災リーダー講座の開催	・地域の特色を反映した、小学生向け防災冊子を作成・配布【国・高砂市】 ・避難誘導訓練(水防訓練項目)を実施【高砂市】 ・小野東小学校で、平日昼間に大規模地震が発生した想定に住民参加型訓練(参加者:約1,500人)を実施。地震だけで無く土のう作成体験や炊き出し訓練の実施など水災害にも備えた内容で、学校(児童・保護者)の他、自主防災会や警察、自衛隊等の関係機関も連携、参加した。【小野市】 ・市内の小中学校1校、自主防災組織 5団体に対して、それぞれ出前講座を実施【加東市】 ・ジュニア防災スクールを実施【県】 ・ひょうご防災リーダー講座を開催【県】	・地域単位の防災訓練の実施 ・出前講座の実施 ・小学校等における防災訓練(出前講座)の検討、実施 ・アンバーサリプロジェクトにおける浸水リスクの提供 ・ジュニア・地域防災スクールの実施 ・ひょうご防災リーダー講座の開催	・定期的な防災訓練の実施 ・全小学生の水防意識向上	
意識変化を確認するための手法(住民アンケート等)の検討・実施	●	-	●	●	○	●	・地域防災計画に記載のある浸水の恐れのある要配慮者利用施設へのアンケートを実施	・対象となる市内11施設の要配慮者利用施設に対し、水害時の避難確保計画の作成及び訓練の実施状況等について調査を行い、結果をもとに計画未作成の施設や訓練の未実施施設に対し、作成等を促す。【小野市】	・水防意識に関するアンケートの検討、実施、取りまとめ	・地域住民の浸水被害に対する意識向上の確認	
最大規模洪水を対象とした浸水CGの作成、公表	○	-	○	○	○	●	・市民意識向上につながるCG作成モデル地区の提案 ・モデル地区におけるCG作成支援 ・浸水CG(計画規模)の公表	・高砂市総合運動公園、高砂市文化会館、加古川市役所、河原交差点におけるL2浸水CGの作成【国・高砂市・加古川市】 ・最大規模洪水を対象とした浸水範囲等について、「浸水ナビ」HPにて情報公開中【国】 ・計画規模洪水時の浸水CGを作成、公表【県】	・L2浸水CG作成対象地の拡大	・L2洪水生起時の具体的なイメージの啓発	
最大規模洪水を加味した洪水ハザードマップの検討・作成	○	-	●	●	○	●	・モデル地区におけるL2洪水時の避難検討	・モデル地区におけるL2洪水時の避難可能場所の検討【国・小野市】	・モデル地区の展開 ・各市のハザードマップへのL2洪水反映	・各市のハザードマップに、L2洪水情報を反映	
タイムライン(案)の検証、及び改善に向けた検討	○	-	-	○	○	○	・タイムライン(簡易版)の運用 ・タイムライン(チェックリスト版)の作成、共有	・タイムライン(簡易版)の運用【国・加古川市、高砂市、小野市、加東市】 ・タイムライン(チェックリスト版)の作成、共有【国・加古川市、高砂市、小野市、加東市】	・更新版タイムラインの活用 ・タイムラインを用いた防災訓練等の実施 ・地域の現状に即したタイムラインの作成を検討 ・タイムライン検討会(仮称)による拡充	・関係機関を含めた、タイムラインの共有	
避難判断水位、氾濫危険水位等の検証及び見直し	○	-	(●)	○	○	○	・避難判断水位、氾濫危険水位の検証 ・避難判断水位、氾濫危険水位の検討(県管理区間)	・課題となる出水が無かったため、現行水位の見直しは未検証【国・加古川市、高砂市、小野市、加東市】 ・「危険水位等の設定要領(改訂版)」に基づき、各水位を県管理河川において設定【県】	・設定水位と避難状況に乖離が見られる場合は、設定水位の再検討を行う ・県管理区間で新たに設定した水位の運用を実施	・避難意識にリンクした水位設定	
広域避難も含めた、避難場所及び避難経路の検討	●	-	●	○	○	●	・L2洪水発生時の、避難場所検討 ・防犯灯の設置	・避難人数と収容場所のマッチング検討【高砂市】 ・夜間時の避難に備え、地元自治会と協働し、主要避難路にLEDの防犯灯を設置。夜間でも側溝等の危険箇所が確認できるようになった。【小野市】	・避難場所や避難経路について、検討を行う。 ・避難経路の検討に必要な情報提供等の支援を行う。	・市域を越えた避難状況を想定した計画策定を行う。	
地域防災計画の検討、更新	●	-	●	○	○	○	・地域防災計画の更新及び公表【加古川市、高砂市、小野市、加東市】 ・福知山市の視察および意見交換【国、県、加古川市、高砂市、小野市、加東市】	・地域防災計画の更新及び公表	・地域防災計画の更新及び公表	・地域防災計画へのL2洪水の反映	
協議会参加機関のホームページ等を活用した、情報提供内容の検討	○	-	○	●	●	○	・L2浸水想定区域図の公表 ・防災情報の発信	・L2浸水想定区域図(拡大図)を事務所HPに掲載【国】 ・浸水アーカイブを作成【加東市】 ・国のL2浸水想定区域図ページへのリンクを県HPに掲載【県】	・提供する防災情報の拡充	・ホームページ等で分かりやすく防災情報を提供する	
発表対象区域や避難の切迫性等が住民に伝わる洪水予報文、伝達手法の検討	●	●	-	○	●	●	・情報伝達システムの構築	・的確な避難行動のための災害情報伝達システムを構築【加古川市】	・出水により、発表した洪水予報文では住民の反応が悪い等の状況であれば、理由を検証し、必要に応じて洪水予報文や伝達手法を見直す。	・発表した洪水予報等の情報が、地域住民に伝わるようにする。	
最大規模洪水時の避難情報提供のあり方検討	○	●	○	○	○	○	・被災自治体への視察 ・デジタル無線同報系の導入検討	・住民への伝達手段として、戸別の防災ラジオの配布、屋外スピーカーの設置を検討。【小野市】	・最大規模洪水が発生した際の、避難情報提供のあり方について検討を行う。	・L2洪水が発生した場合に、避難情報が住民に確実に届く方策を複数用意する。	

○目標を達成するための具体的な取組状況【加古川】

(○：H28取組に具体の成果例あり ●：H28取組で具体の成果例なし -：H28取組対象外)

項目	取組実施機関						H28実施内容	H28成果 青字：資料2-2で国が取組事例として報告 赤字：資料2-3で各機関が取組事例として報告	H29以降継続内容	最終目標	備考
	国 道事務 所	兵 庫 県	加 古 川 市	高 砂 市	小 野 市	加 東 市					
スマートフォン等を活用したプッシュ型情報の発信・普及活動の検討	○	-	●	○	○	○	・プッシュ型配信の実施調整	・ プッシュ型配信を実施にむけた調査を実施 【国・加古川市、高砂市、小野市、加東市】	・配信内容の検証 ・プッシュ型配信を用いた、防災訓練の実施	・防災情報発信時に、住民が必要な情報を得られる手段を増やす。	
外国語に対応した情報提供の実施	-	-	-	-	-	-	-	-	・モデル自治体ホームページにて、外国語版防災ページを検討	・外国人に対しても、防災情報を発信できるようにする。	
「自主防災組織で避難誘導にあたる人材」の育成	●	-	○	●	○	○	・避難誘導訓練を実施 ・自主防災会リーダー研修会を実施 ・ひょうこ防災リーダー講座を開催	・避難誘導訓練(水防訓練項目)の実施【高砂市】 ・ 小野市自主防災会リーダー研修会(参加者:約400名)を8月に実施。避難誘導訓練を含めた、炊き出し訓練や防災教育訓練を実施。女性参加者も多く、女性のリーダー育成にもつながった。【小野市】 ・ひょうこ防災リーダー講座を開催【県】	・自治体等で実施している。防災リーダー育成研修会を実施	・市役所職員に頼らずに、住民自らが避難できる態勢の構築	
避難行動要支援者に対する、避難計画の作成	(○)	-	(○)	●	○	○	・要配慮者施設における避難計画作成説明会の実施 ・要配慮者施設における、避難計画の検討 ・地域防災計画に記載のある浸水の恐れのある要配慮者施設へのアンケート	・要配慮者利用施設の管理者向けに水害や土砂災害時の適切な避難行動に関する説明会を実施【国・県】 ・浸水リスクのある要配慮者利用施設における、避難計画の検討【高砂市】 ・対象となる市内11施設の要配慮者利用施設に対し、水害時の避難確保計画の作成及び訓練の実施状況等について調査を行い、結果をもとに、未作成の施設、訓練の未実施施設に対し、作成を促す。【小野市】	・要配慮者利用施設の避難計画について、地域防災計画等への反映	・自宅等に居住する要配慮者に対する避難計画の策定	
高齢者に対応可能な、避難誘導の検討	●	-	●	●	○	○	・災害時の準備情報の変更に伴う広報	・広報用のチラシを全戸配布(約16,000軒)し、住民の意識改革に取り組んだ。【小野市】	・高齢者が避難可能な状況を整理 ・モデル地区における、避難誘導の実施検証	・誰もが安全に避難可能となる計画の策定	
市が主催する防災訓練の検討、実施	●	-	●	●	○	○	・防災訓練の実施	・ 高砂市水防訓練(参加者421名)を実施し、市民の水防災意識を醸成した【高砂市】 ・消防本部主催の水防訓練に市の関連部局も参加。【小野市】 ・東条東小学校及び米田小学校で自主防災組織との合同防災訓練を実施。(東条東小:620名参加、米田小:225名参加)【加東市】	・水防を意識した防災訓練の実施 ・学校単位の浸水訓練の検討	・多数の住民が参加し、実感できる水防訓練の実施	
最大外力洪水又は計画規模洪水を対象としたマイ防災マップ等の更新、作成	○	-	●	●	○	○	・マイ防災マップの作成説明会を開催	・2自治会において、作成に向けた調整中。【小野市】 ・3地区(福吉、西吉瀬、大門)の役員にマップ作成に向けた役員説明会を実施。福吉地区では住民によるマイ防災マップの作成支援を実施【国・加東市】	・マイ防災マップ作成支援 ・マイ防災マップ未作成地域での作成 ・マイ防災マップ作成地域の更新	・浸水の可能性がある全ての地域で、マイ防災マップの完成もしくは避難所、避難経路の周知	
関係機関と協力・連携した普及啓発活動(出前講座等)の実施	●	-	○	●	●	○	・出前講座の実施 ・防災アーカイブスの作成 ・東播磨地域防災のつどい開催	・加古川沿いの2自治会で、水害に関する出前講座を実施。(参加者:約100人)【小野市】 ・ 平成16年出水の経験者等のインタビューをビデオ記録誌、次世代に伝える防災アーカイブスを作成【加東市】 ・ 達野東小学校で出前講座を実施。(児童80名参加)【加東市】 ・ H29.1月に「東播磨防災のつどい」を開催【県】	・連携して出前講座を実施 ・出前講座依頼方法の検討 ・ジュニア・地域防災スクールの実施	・住民の防災意識を高める	
2. 水防に関する事項											
若年層の消防団加入促進を図る普及啓発活動を実施	●	-	○	○	○	○	・消防団への加入啓発	・ポスター等の掲示【加古川市、高砂市、小野市、加東市、県】	・ポスターの掲示等	・消防団員の増加	
重要水防箇所を姫路河川国道事務所ホームページ等で公表	○	-	(○)	-	-	-	・重要水防箇所を事務所ホームページに掲載 ・重要水防箇所(県管理区間)を県ホームページに掲載	・重要水防箇所を事務所ホームページで公開【国】 ・重要水防箇所(県管理区間)を県ホームページで公開【県】	・出水の影響や、河川整備により重要水防箇所を見直す ・更新した重要水防箇所について、関係機関に情報共有すると共にホームページで公表する ・河川整備の進捗に応じ重要水防箇所を更新し、県ホームページへ掲載	・水害リスクのある箇所を、住民の方に共有する。	
溜め池の決壊や内水氾濫、最大外力等を踏まえた避難態勢の整備に努める	-	-	○	○	○	○	・溜め池ハザードマップを公表	・溜め池ハザードマップを市ハザードマップ、CGハザードマップ、地域防災計画等で公表【加古川市、高砂市、小野市、加東市、県】	・溜め池決壊の被害にそなえた啓発を実施	・溜め池の決壊や内水氾濫等に備えた、避難計画の策定	
関係者による重要水防箇所等の共同点検を実施	○	-	○	○	○	○	・重要水防箇所等について、共同点検を実施	・ H28.12月～H29.1月に重要水防箇所等を共同で確認した。【国・加古川市、高砂市、小野市、加東市】 ・H28.6月に重要水防箇所(県管理区間)を共同で点検【加古川市、高砂市、県】	・住民を交えた共同点検を実施する	・水害リスクのある箇所を、住民に共有する。	

○目標を達成するための具体的な取組状況【加古川】

(○：H28取組に具体の成果例あり ●：H28取組で具体の成果例なし -：H28取組対象外)

項目	取組実施機関						H 2 8 実施内容	H 2 8 成果 青字：資料2-2で国が取組事例として報告 赤字：資料2-3で各機関が取組事例として報告	H 2 9 以降継続内容	最終目標	備考
	国 河川事務所	兵庫県 加古川市	高砂市	小野市	加東市						
洪水時のCCTVによる堤防監視、施設監視の強化	○	-	-	-	-	-	・既設CCTVでは確認出来ない範囲の確認【国】 ・既設CCTVで確認出来ない箇所に対する新設CCTV等の設計を実施【国】	・氾濫の可能性のある箇所について、状況把握できるようにする。	・洪水時に、越水状況等を把握するのに安全性を高める。		
洪水時に提供可能な水位データやCCTVの設置検討	○	-	-	-	(○)	-	・加古川左岸2.4k、右岸18.0k、右岸28.8k、左岸35.6kにおける簡易水位計の設置設計【国】 ・加古川右岸8.2k付近におけるCCTV設置設計【国】 ・千鳥橋(東条川)橋脚部分に、水位計を設置【小野市】	・簡易水位計、CCTVの充実	・避難情報の発表、避難地域の検討に必要な情報を充実させる。		
河川管理者による水位予測情報の提供	○	-	○	○	○	○	・氾濫準備水位を超過した段階で、水位予測を各自治体に提供 ・水位予測情報等(県管理区間)を各自治体に提供	・情報提供する水位に達しなかった。【国】 ・フェニックス防災システムで水位予測情報等(県管理区間)について、各自治体に提供した。【県】	・各自治体が必要とする水位において、水位予測情報を提供	・避難情報の発表、避難地域の検討に必要な情報を充実させる。	
水防倉庫等の配置計画を再検討	●	-	●	●	●	●	・水防倉庫等の配置計画を検討	・水防倉庫等について、配置に関する具体の調整を行えなかった。【国】	・水防活動に支障がないか、拠点の配置について検討を実施	・どの地域でも遅滞なく水防活動が可能となる配置計画の策定	
水防資機材の備蓄状況について、自治体に情報提供を実施	○	-	○	○	○	○	・水防資機材の備蓄状況について、関係自治体へ情報提供	・分散備蓄倉庫に収納する水防資機材や消防団が管理する水防資機材等について、各自治体と情報共有できた。また、土のう作成用採石保管場所を明示した看板を設置し周辺住民等へ情報提供した【小野市】 ・水防資機材の備蓄状況について、水防協議会等で自治体と情報共有を実施【国】 ・水防連絡会にて、水防資機材備蓄状況について情報共有している【県】	・水防協議会等で水防資機材備蓄状況について情報共有を行う	水防用資機材が必要な時、どこに配備されているかを関係機関で情報共有する。	
3. 氾濫水の排水に関する事項											
氾濫水を迅速かつ的確に排水するための排水計画(案)の策定、見直し	○	-	-	○	●	●	・市庁舎等、防災拠点モデルの排水計画(案)の作成	・高砂市庁舎における排水計画(案)の作成【国・高砂市】 ・加古川市庁舎における排水計画(案)の作成【国・加古川市】	・排水計画を必要とする地域、施設について計画を拡充する	・L2浸水時に、早期の排水が必要な施設・地域に対して排水計画が策定されている。	
排水計画(案)に基づく排水訓練、及び関係機関との合同訓練の実施	-	-	-	-	-	-	-	-	・作成した排水計画を用いて、実際にポンプ車が配置可能か、訓練を実施する。	・各地域で作成した排水計画箇所での訓練を実施し、実際に作業が可能であることを確認する。	
4. 河川管理施設に関する事項											
流下能力を向上させる事業の実施	○	-	-	-	-	-	・築堤予定箇所の買収、河道掘削の実施	・滝野地区 河道掘削、築堤 ・大門地区 河道掘削 ・高砂、尾上地区 河道掘削 ・浸透対策 L=0.8k	・加古川河川整備計画に基づき、計画的に整備を実施	・加古川河川整備計画の目標流量を安全に流下させる。	
堤防天端の保護、裏法尻の補強等、危機管理型ハード対策の実施	○	-	-	-	-	-	・整備が必要な箇所に対する、対策の実施	・天端舗装 L=1.8k	・整備が必要な箇所に対して、対策を実施	・整備が必要な箇所の対策を完了する	
水防拠点となる施設の整備検討	●	-	-	-	-	-	・水防拠点となる施設の整備を検討	・水防拠点となる施設について、意見等が無かったため未実施【国】	・整備候補箇所に対し、検討を行う。	・必要な水防拠点となる施設の整備	